



食品回収活動

すべてのライオンズクラブは自律的な団体です。つまり、各ライオンズクラブはそれぞれ独立した団体として、地域の法規制に従い独自に行事を実施する責任があります。このプランナーは、推奨を提示することを目的としており、法的な勧告やベストプラクティスとしてみなされるべきではありません。このプランナーで示す活動は、地域社会によっては不適切である場合もあります。法規制や安全基準、ベストプラクティスのすべてに確実に準拠するよう、地域の専門家に相談してください。



食品回収活動

この事業プランナーは、1週間にわたる食品回収運動を企画するクラブを支援するためのものです。このような食品回収運動を通して、地域社会を食品寄付に動員し、回収した食品を仕分けおよび包装して、地域の食品団体に提供します。

このような事業を実施することで、地域社会のメンバー全員が栄養のある食事ができるよう確保するというライオンズクラブの戦略ビジョンを後押しすることになります。

早速、イベントの企画を開始してください。

下記空欄に記入して、イベントの詳細を決定しましょう。

目標 » 栄養のある食品を回収し、 地元の食品団体が地域社会の 支援対象者に食品を提供でき るようにサポートします	実施期間 7日	実施場所 ☐ 学校 ☐ 宗教団体 ☐ 企業 ☐ コミュニティ行事 ☐ 食品店 ☐ 食品回収団体 (フードバンク、食料配給所、炊き出しなど) ☐ その他
	企画所要時間 1〜2カ月	
	開始／終了日 _____	

参加対象者

行事への参加対象者を選択します。

対象者： ☐ 児童 ☐ 青少年 ☐ 大人 ☒ 上記すべて	主催者： ☐ 地元食品団体の代表者 ☐ 食品回収場所代表者 ☐ その他のボランティア _____	留意事項：
--	---	--------------

事業に必要なすべてのタスクを特定します。

計画の際は、楽しいだけでなく教育的に有用なイベントを企画するよう心がけてください。事業には下記の3つのタスクを必ず取り入れます。

1. 回収した食品を受け取る食品団体を選定します。

- » より小さな団体に大量の食品を分配するフードバンクなどの従来の団体や、食品の配給を行う食料配給所や炊き出し団体、シェルターなどがあります。

2. 食品の回収方法を決定します。

- » 寄付する食品を入れる回収箱または容器：
 - 回収容器を職場の共有スペースに設置して従業員に寄付を促す
 - メリット：必要なボランティアの人数を抑えられる
- » 食料品店やその他食料品を購入する事業場所に人員が待機し、直接寄付を募る：
 - メリット：クラブやクラブの飢餓救済活動の宣伝となる
 - メリット：寄付を呼びかけるチャンスが増える
- » 回収ボックスと人員の配備
 - メリット：両方の食品回収スタイルの強みを組み合わせられる

3. 食品回収事業の宣伝活動を行います。

- » 食品回収の宣伝活動のアイデア：
 - チラシを掲載する
 - 地元ニュース（テレビ、ラジオなど）で告知する
 - その他グループ会合（クラブ会合、宗教礼拝／奉仕、学校行事など）で告知する
 - スポーツ行事、コンサート、その他大規模な地域活動に付随させる
 - 地元の著名人に回収の宣伝を依頼する
 - Facebook、Twitter、Snapchat、WhatsApp、Instagram、その他のソーシャルメディアプラットフォームを利用する
- » 宣伝には以下を含めます：
 - ライオンズクラブの名前やロゴ
 - 協賛者（回収場所や食品団体）の名前やロゴ
 - 日付、時刻、場所
 - 寄付を募る食品／その他物資の例



イベントでのボランティアの役割を割り当てます。

担当／役割	氏名	連絡先	留意事項
事業リーダー			クラブのライオン／レオの食品支援者がよいでしょう。イベント実行計画やボランティアを管理できる必要があります
ボランティア管理者			ボランティアに役割を割り当て、質問があればサポートを受けられるよう確保する
マーケティングリーダー			
地元食品団体の代表者			
食品回収場所の代表者			
イベント撮影者			宣伝目的でイベント写真の使用を計画する場合、参加者から署名入りの公開承諾書を受取る必要があります。

活動の内容に合わせて子供と大人の人数配分が適切になるようにします。

ライオンズの人数	
レオの人数	
その他の人数	

推奨されるボランティアの配分*：

- » 0-4 歳児：子供4名に対してボランティア1名
- » 4-8 歳児：子供6名に対してボランティア1名
- » 9-12 歳児：子供8名に対してボランティア1名
- » 12-18 歳児：子供10名に対してボランティア1名

*多くの地域政府では、保育職員一人に配分される児童の数を法律で制限しています。いかなる活動においても地域の規制に準拠するよう注意してください。



事業を実現可能なステップに整理します。

改善事業リーダーと公共イベントリーダーは、この用紙に記入して進捗を追跡できます。

ステータス	タスク	期限	タスクリーダー	ヒント
×	クラブに情報を伝える			クラブでイベントの情報伝達会議を開く
	イベント名／タイトルを作成する			
	企画委員会の結成			
	予算案を作成する			
	資金調達（必要に応じて）			
	食品の寄付先となる食品団体に連絡する			補足の話し合いガイドを参照してください
	食品回収場所に連絡し、場所を確保する			補足の話し合いガイドを参照してください
	適切な保険に加入する			保険または補完保険の証書の可否については、監督官庁にご確認ください。 すべてのライオンズクラブに提供される一般賠償責任保険のポリシーの適用範囲に関する質問は、 http://lionsclubs.org/pib-en にアクセスして、プログラム保険冊子を確認してください。
	必要なボランティアを確保し、役割を割り当てる			ボランティアの役割の例： » 宣伝資料のデザインと配布 » 回収した食品の仕分け » 回収した食品の賞味期限の確認 » 回収した食品の包装 » 回収した食品の配達 » 寄付しやすい環境作りのため回収場所に待機および／または行事、ライオンズクラブ、提携食品団体の情報共有
	宣伝／マーケティング計画を策定する			チラシ、デジタル版の資料などを用意するとよいでしょう。

事業を実現可能なステップに整理します。

ステータス	タスク	期限	タスクリーダー	ヒント
	食品回収場所を設営する			» どこに寄付する食品を持ち込めばよいかわかりやすい標示を使用します » LCIや食品の寄付先、地域社会の飢餓の実情に関する情報も含めます » 必要に応じて食品の区分標示も使用します » 寄付された食品の仕分けや包装に必要な箱、ケース、袋などの持ち込みを計画する » ボランティアが回収場所に待機する場合は、2〜3時間のシフトを検討します
	食品を回収して仕分けする			食品を仕分ける際は、必ず地域の安全性および取扱に関する規制に従ってください
	食品団体に食品を届ける			食品団体に取扱や冷蔵に関する規則を確認してください
	将来的に再び食品回収を実施する際に改善できる点はないか、食品団体にフォローアップを依頼してください			
	イベント実施後に改善点を話し合う慰労会を企画する			検証質問を活用して話し合います

事業の予算を決定します。

イベントの予算決定にはこのワークシートを利用できます。

説明	数量	費用	経費 合計	現物提供/ 寄付	収入	残高
食品包装用資材						
冷蔵用資材						
仕分け用資材 (紙袋など)						
回収場所に使用する資材						
テーブル						
椅子						
教材 (ライオンズクラブ国際 協会、提携する団体、 地域の食品受給者など)						
マーケティング						
宣伝材料						
その他						
ボランティア用 の水／軽食						

事業の成果を評価します。

イベント企画委員会を再召集し、成功を祝い事業報告を行います。



▶ クラブで回収した食品が何人に支給されるか、食品団体に推定してもらってください。

成果の評価			
事業評価			
18歳未満の奉仕者人数		非会員のボランティア参加人数	
18歳以上の奉仕者人数		奉仕総時間数	
ボランティアに参加したライオンの人数		事業の企画/資金調達に要した総時間数	
ボランティアに参加したレオの人数			
事業の検証			
1. 栄養のある食品の回収を計画および実施して、支援を必要とする地域社会のメンバーに奉仕することができましたか？			
2. 地域社会に、ライオンズクラブ国際協会や地域の食品受給を必要とする人々について情報を提供することができましたか？			
3. 最大の成果は何ですか？			
4. 最も難しかったことは何ですか？			
5. このイベントを再び実施しますか？			
6. どこを改善しますか？			

計画話し合いガイド

地域の食品団体の代表者と話し合いを進めるための質問：

- » 具体的にどのような食品を必要とされていますか？
- » どのような年齢対象食品や健康面で適切な食品を必要とされていますか（例：減塩、柔らかい食品、開けやすい包装、アレルギー対応）？
- » どのような食品が文化的に適切ですか？
- » 食品以外で何か必要な物資はありますか？
- » 生鮮食品の受け入れはありますか？ 生鮮食品の受け入れに関してどんな規制がありますか？
- » 包装サイズに希望はありますか（例：大型包装または個包装）？
- » 食品を仕分ける必要はありますか？ その場合、どのように仕分けますか？
- » 団体に食品を配達する際は、どのような配達方法が一番よいですか？ 食品をいつ寄付したらよいですか？
- » ライオンズクラブで他に団体を支援できる方法がありますか？

食品回収場所の代表者と話し合いを進めるための質問：

- » 具体的にどこで回収を実施しますか？ 例えば、建物の入口、レジの隣、本部、市場の入り口など。
- » 回収を実施する日時はどうしますか？
- » ピックアップまで食品はどこに保管されますか（ボランティアが当日に食品をピックアップ・配達しない場合）？
- » ボランティアが回収に従事してもよいですか？ その場合、ボランティアに伝達する指示や情報はありますか？
- » 食品のピックアップを計画するボランティアに対して特別な指示や情報はありますか？
- » 回収場所で食品回収の宣伝を行っていただくことは可能ですか？
- » 回収場所でライオンズクラブ国際協会や提携先の食品団体の宣伝を行ってもよいですか？
- » クラブの宣伝媒体（テレビ、新聞、ソーシャルメディアなど）で食品回収場を宣伝してもよいですか？
- » この回収行事を成功させるために、何か他の方法でご協力いただけることはありますか？

ボランティアに役割を割り当てる際の考慮事項：

- » ボランティアが回収場所に待機しますか？
- » どのぐらいの頻度で食品を仕分け、包装、配達しますか（生鮮食品を回収するか長期保存可能な食品を回収するかによって決定）？

